



●HPの掲載

「秘密のサインで行き先がわかる」

~~~~~  
【2017年9月27日 19:00】

Hello! こんにちは。キャプテンBSです。

階段を上がるといよいよ山の道ですね。地図が用意されていますから、地図を頼りに歩けば、簡単に目的地に到着できる。これは本当でしょうか。地図の見方が分からなかったり、方角が分からなくなったりしたら、どうしましょう。

山道には、行き先標識が分岐点で必ず用意されています。行き先の名前が書いてありますから、地図にその名前が見つければ分かります。でも、それでも悩むことは多いです。

ときどき、赤や黄色のリボンが樹木に縛り付けてあるのを見ますね。そのリボンを頼りに行けば、目的地に到着できるようにしてあるのですね。でも、リボンは方向が分からないです。リボンが見つければこの道は間違いないと思えますが、どこに括られているか分かりません。

ボーイスカウトでは、「追跡サイン」という秘密の決めごとがあります。何か楽しくなりませんか？ これを体験してもらいます。行き先の方向、目的地までの距離、メッセージの所在の見つけ方を自然の枝や石を使って、後から来る人に知らせる方法です。地図の他に追跡サインもあると心強いと思います。でも、これを確実に見つける能力が必要です。これは観察力です。ボーイスカウトは観察力に優れています。だから、追跡も簡単にできるのです。

「追跡サイン」は、簡単に作成できますが、簡単に壊れてしまうのが欠点です。歩いている人が、追跡サインを踏みつけてしまったらもうサインは役にたちません。だから、サインを作成する人はよく考えて、「壊れない」、「見つけやすい」、「分かりやすい」サインを準備します。この追跡サインは、明らかに今日作成したものと分かるようにするにはどうすればいいのでしょうか。たとえば、枝や草で作成する時は、新しいものというのが判断の目安です。枯れてしまった枝や草は、ずっと前に作成したことになりますから、これは他の人のために用意された追跡サインということになります。枯れた枝でもナイフで削った跡が新しい場合は、有功となります。今はナイフを持ち歩きませんが、以前はボーイスカウトはナイフを与えられていつも持っていました。今は、リーダーはナイフを持っています。

また、枯れた枝でも周りの落ち葉などをきれいに取り除いた跡が新しいと分かれば、その追跡サインが有効だと分かります。観察するときは、道の歩く場所から少し離れたところを見て歩くといいですね。

「追跡サイン」の形は、多くは→です。逆Yの形の枝は追跡サインになります。逆Yの字は、その形をした枝が多くありますから、よく利用されます。まっすぐな枝を組み合わせるやり方もありますが、壊れやすいです。

歩きながら「追跡サイン」を見つけるのは楽しいですね。あなたは、いくつ見つけられるでしょうか。たくさん見つけてください。

では、9月29日にお会いしましょう。テーマは、「負傷者はどこだ？ 展望台から情報を入手しよう」です。See you again.